



# みどりの風

令和5年1月10日発行  
校報 603号  
(みどりの風 146号)  
練馬区立関町北小学校

過去、現在、そして未来へ思いをつなぐ

新校舎落成の年を節目に家庭・地域との連携をさらに深める 校長 吉川文章

新年明けましておめでとうございます。本年は新校舎落成元年になります。1月からプール棟での教育活動が始まります。放課後の「ひろば室」の利用も始まり、子供たちの活気あふれる姿が見られます。今後は、様々な教育活動を通して、子供たちに感謝の気持ちや郷土愛を育み、保護者や地域の皆さまとの連携をさらに深める節目にしていきたいと思います。

現在、新校舎落成記念行事を校舎、校庭が完全に完成する令和5年9月を鑑み、開校記念日の翌日11月2日に実施する計画です。学校だよりでもお知らせしているところですが、それに向けて昨年の6月に準備委員会、7月に実行委員会を立ち上げ、現在3度の協議を重ねております。

以下は、このプログラムに全面的に関わってくださっている前大野校長先生の思いです。

新校舎改築に当たり、60年以上にわたって子供たちの学校生活を見守ってくれた校舎に感謝の気持ちをつたえる行事「さようなら関北校舎」を令和元年8月24日に開催しました。当時の在校生は、過去の卒業生を代表し、いつくしむように心を込めて校舎へメッセージを書きお別れをしました。

新校舎の落成は50年（設備の進化から考えると百年）に一度の節目であり、周年行事に匹敵する、もしくはそれ以上の教育的価値のある節目です。新校舎落成記念行事は区から義務付けられているものではありません。しかしながら、区随一の学校愛に溢れる関北の地域や保護者の皆様であるのならば、この節目が「過去、現在、そして未来へ思いをつなぎ」「家庭・地域との連携をさらに深める機会」となるとの確信をもち、それに続く以下の「新校舎落成記念行事实施の構想」を吉川校長に引き継ぎました。

落成の行事は、開校記念日に続く11月2日です。「さようなら関北」で行った活動を「こんにちは関北（仮称）」でも実施。高学年は記念式典に準じる儀式に参加します。そして、関中、石神井高校、女子学院のダンスや音楽などのパフォーマンスともコラボをして共にお祝いをします。さらには先端の技術に関北の児童、教職員、卒業生、保護者、地域の皆さまと共に、感動を共有する機会として、新校舎に映し出される壮大な「プロジェクションマッピング」を行事のフィナーレに出来たらと思います。

わたくしは、この思いを受け取り、校長として、大野前校長先生の関北愛の深さ、この学校の児童に保護者・地域に教師人生をかけて経営に当たられた情熱に感銘すると共に、今の職責の重さを実感しました。そ

の思いを受け継ぎ、現在いる「愛し子」をとことん愛し、この節目に「学校を」「地域を」愛する心情を育てるための教育活動に邁進する決意を新たにしました。さらには、中一から諸先輩方まで脈々と続く卒業生の思いへ「想いを馳せる」するとともに、これから入学する子供たちにも関町北を愛する心情を高めたいと強く思いました。

大野前校長先生の構想を具現化するために、新校舎落成の年を節目に、過去、現在、そして未来へ思いをつなぎ、家庭・地域との連携をさらに深めるための教育活動に「魂を込めて」まいります。実行委員長をお引き受けいただいた関町北4、5丁目町会長棟方隆一様と手を携えながら「子供たちを主役」のプログラムを編み込んでまいります。

本号には、副校長、主幹教諭からの関連記事も載せております。今後は「落成記念行事コーナー」を設けて随時経過を発信してまいります。

## 【新校舎落成に向けた関連の記事】

### 新校舎落成記念行事に向けて

#### 6年生実行委員による取り組みプロジェクションマッピングのアイデア募集

新校舎落成校内担当 教務主幹

プロジェクションマッピングが投影される時間のおよそ5分間を子供たちのアイデアによる「心に残る映像と音楽」を流す予定です。在校生、卒業生、地域や保護者が集う中で感動を共有する場面を想像するだけで心が躍ります。

3学期、6年生は卒業に向けた様々な活動の実施に当たり、実行委員を中心に企画・準備を行います。その一環として、新たに「プロジェクションマッピングのアイデア募集委員会（仮称）」を立ち上げて、全児童からのアイデアを募って楽しくプログラミングをしていきたいと考えています。

ざっくりとした今後の計画です。

- 1 6年生の実行委員会募集
- 2 実行委員会による計画案の検討
- 3 全児童にアイデアを募集
- 4 アイデアのとりまとめ
- 5 プロジェクションマッピング制作者へのデータの提供

※ 6年生が関わってくれたプログラムが形となるプロジェクションマッピング当日には卒業生として来校してくれることを期待しています。

今後の活動の様子については、学校だよりやホームページで発信してまいります。